

まえがき

本書を手にとってくださいみなさん、本当にありがとうございます。本書で紹介する「**クラス会議**」とは、教室の中で行われる学級経営の手法の一つです。**子どもたちが自分たちの問題や悩みごとについて話し合うことで、自己開示が始まり、仲が深まり、居心地の良いクラスができあがっていくのです。**

いま、全国の先生たちがこんなことに悩んでいます。

○子どもたちが言うことを聞きません。

○トラブル対応ばかりしていて正直疲れました。

○授業も進んでないのに、話し合っている暇なんてないです。

○管理職からもっと厳しくしないといけないと言われています。

○大学で教わってきたことがまったく役に立ちません。

こうした悩みが日々、私の元に多数寄せられます。もちろん一発で解決する特効薬はありません。けれども**確実に良くなる効果が得られるのがこの「クラス会議」なのです。**なんで良くなるのだろう、そう思われた方は第1章へお進みください。読んでいくうちに、その秘密がわかるようになっていきます。

「子どもたちはケンカばかりしているのに、話し合いで解決するなんてまったくイメージが持てないよ…」。私も一番最初「クラス会議」と出会った時に、そう感じました。

休み時間の度にケンカをして帰ってくる子どもたちを目の前に、とても話し合いや対話が成立するなんて1ミリも思えなかったのです。

けれどもすでにクラス会議を実践している先生から動画を見せてもらった時に、私もこんなクラスが作りたい！ と思えるほど、**子どもたちの表情はイキイキとして、楽しそうに話し合いをしていました。そして何より、こんなクラスをつくるために先生になりたかったことを思い出しました。**

そこから自分の中に1本の芯ができ、常にクラス会議＝学級経営を中軸においてキャリアを形成してきました。気がつけば、公立小学校の教員→私立小学校の立ち上げ→教育大学で教員養成兼教員研修・企業研修に関わるなど、「クラス会議」を中心として、仕事が広がっています。

クラス会議を教室に取り入れることで、子どもたちを信じて任せることができるようになります。話し合いという性質上、先生がすべて取り仕切って行うことが不可能になるからです。そして何より、学校に行くのが楽しくなる。子どもに会うのが楽しくなる。愛をもって接することができるようになる。これが一番大きな変化です。

何のために先生になったのか、何がしくて先生になったのか、そんな自分の本質と向き合いながら読み進めていただけると非常に嬉しく思います。

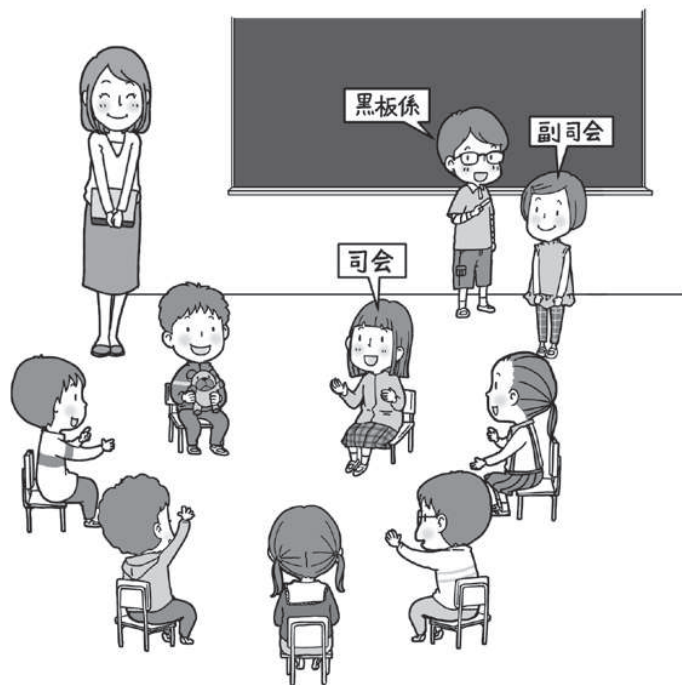
すべては子どもたちと自分の笑顔のために♪

2025年2月
深見 太一

クラス会議 って何？ という先生へ

クラス会議は、クラスや自分の問題について
子ども同士で話し合って解決する方法です♪

子どもたちみんなで輪になって話し合うので、
お互いの気持ちに気づきやすく、
仲が深まって、あたたかいクラスに変わっていきます。



教師は話し合いを子どもに任せて見守り、
サポートに徹することを大事にします。

クラス会議を続けていくと、

- ①子ども同士が仲良くなり、
クラスがまとまります♪
- ②クラスがあたたかい雰囲気になり、
授業時間もなごやかに落ち着きます。
- ③子どもたちがどんどん自分で考えて、協力しながら
問題を解決していくようになります。



こんなクラスにしたい！ という先生、
ぜひクラス会議をはじめてみませんか？
(本書の内容へ GO！)

もくじ

まえがき	2
------	---

第 1 章

クラス会議は こんなにすごい！

クラス会議って何？	12
クラス会議をするとクラスはこんなに変わる！	14
クラス会議ってどう進めるものなの？ 進め方実践マニュアル！	16
クラス会議は時間を奪わない、むしろ生み出す	22
クラス会議への子どもたちの感想	24
COLUMN1 クラス会議ゼミの効果	26

第 2 章

クラス会議をするための 準備をしよう！

準備ステップ1 クラス会議が成立する条件って？	28
準備ステップ2 たくさん遊ぼう！	30
準備ステップ3 「話す・聞く」の練習をしておこう	32
準備ステップ4 輪になって座る練習もしておこう	34
準備ステップ5 なぜクラス会議が必要か伝えよう	36
準備ステップ6 クラス会議での話し合いルールの設定	38
準備ステップ7 議題を集めよう	40

第 3 章

やってみよう！ クラス会議

実践ステップ1 まずはハッピーサンキューナイスから！	44
実践ステップ2 学級会と違い、議題はお悩み解決も OK！	46

実践ステップ3 みんなで解決のアイデア出しをする	48
実践ステップ4 解決策の決定	50
実践ステップ5 アドラー心理学のカウンセリング方法も	52
実践ステップ6 振り返りについて	54
実践ステップ7 ロールプレイングを入れてみる	56
COLUMN2 職員室にもクラス会議は効く!	58

第 4 章

実践事例 こうするとうまくいく! こんなふうに子どもが変わる!

実践事例 クラス会議を通して変わったこと	60
実践事例 まずはやってみた! 低学年のクラス会議	64
実践事例 メリットたくさん! 中学年のクラス会議	68
実践事例 高学年は信頼して任せることから	72
実践事例 スモールステップで クラス会議×特別支援	76
COLUMN3 果たして子どもが変わっているのか?	78

第 5 章

クラス会議 こんなときどうする? Q&A

Q1 クラス会議を行う時間がありません	82
Q2 いつもクラス会議の時間が延長してしまいます	84
Q3 クラス会議をすると余計に荒れていきます	86
Q4 いつもパスする子がいます	88
Q5 一人ですずっと話している子がいます	90
Q6 いつも隣の子と話してうるさくなる子は?	92
Q7 学校統一で学級会をやると決まっている	94
Q8 学年で足並みをそろえましょうと言われて	96
Q9 お悩み解決がうまくいきません	98
Q10 プライバシーに関わるような悩みが出された	100
Q11 教師がどこまで介入していいのか悩みます	102
Q12 子どもに対して厳しくなりすぎてしまう	104
Q13 クラス会議の準備に時間がかかります	106
Q14 保護者にどう説明していいのかわかりません	108
COLUMN4 ドラゴンクエストにハマる大人	110



第 6 章

先生が全部やらなくていい！ 先生のマインドセット

一人ですべてやると潰れる もっと人を頼ろう	112
任せることで子どもが育つ	114
俯瞰して見る時間と力	116
どちらに目を向けるのか	118
こちこちマインドセットと、しなやかマインドセット	120
フローな状態に入るには	122
あとがきにかえて	124

クラス会議って どう進めるもののなの？ 進め方実践マニュアル！

クラス会議は取り組んでみると、そのプログラムのすみずみまで、子どもの自己肯定感とコミュニケーション力を育てる工夫が凝らされているものだとわかんと思います。

まずはクラス会議ってどうやるもののなのか、それをお伝えしましょう！ できるだけ継続して週1回取り組むのがおすすめです！

準備

- ・事前にみんなで話し合いのルールを決めておきます (P38 参照)。
- ・事前にみんなから議題を出してもらいましょう (P40 参照)。
- ・まずは机を教室の隅に寄せて、子どもたちがみんな丸くサークル(輪)になって座れるように準備をしましょう。
- ・子どもたちが一人ひとり話をするよう順番を回していくときに、いま誰の番なのかをわかりやすくするために回すぬいぐるみなど(ぬいぐるみでなくてもボールなどでもOK。トーキングスティックと言います)を用意しましょう(右頁参照)。
- ・司会・副司会と、出てきた意見を黒板に書く黒板書記を決めましょう。

司会進行マニュアル

司会・副司会は会議がスムーズに流れるように進めます。10秒以上、シーンという沈黙の時間をつくらないようにしましょう。

司会…いつもみんなを見ていましょう。

副司会…司会や黒板書記を助けましょう。意見を聞き逃して困っている人がいたら教えてあげましょう。

黒板書記…みんなの意見を黒板に書きましょう。

進め方がわからなくなったら、みんなに相談しながら進めます。

ステップ1 ハッピーサンキューナイス (15分)

司会からはじめの言葉と話し合いのルールを伝え、ハッピーサンキューナイスの時間を始めることを伝えます

司会「これから第〇回クラス会議を始めます。礼」

司会「ここでの話し合いのルールは～ということです。ルールを守っていい話し合いをしましょう」

司会「これから、ハッピーサンキューナイスをします。ハッピーなこと、ありがとうと言いたいこと、ナイスだったことを全員順番に発表しましょう。では私から言いますね」

(もし言えない人がいたら「パスしますか?」と尋ねます)

*いま話す人が誰かわかるようトーキングスティックを順番に回していく。



ステップ2 前回の解決策の振り返り (5分)

司会「前回の議題は～で、解決策は～でした」

「前回の解決策はうまくいっていますか？（前回の議題提案者に尋ねる）」

うまくいっていなければ、「もう一度話し合いますか？ それとももう少し様子を見ますか？」と前回の議題提案者に尋ねる。



ステップ3 議題の共有 (5分)

司会 議題と提案理由を紹介する。

「〇〇さんからの議題です。～」 「この議題を出した理由は～」

「付け足すことはありませんか？（議題提案者に尋ねる）」

「みなさんから〇〇さん（議題提案者）に質問はありませんか？」



ステップ4 話し合いをして、解決策を決める (15分)

司会「今日の議題は〇〇です。解決策を考えましょう。まずまわりの人と5分間話し合ってみてください」

（話を聞いていない人がいたら「話し合いのルールを思い出しましょう」と声かけしてみましよう。時間が迫ってきたら「あと〇分です」と声をかけます）



司会「では話し合って出た解決策を順番に発表してください。できるだけたくさん出してください」

（出てきた解決策はすべて黒板書記が黒板に書きだす。タブレットを使って打ち込んでもよい）

